

## 愚かなる人類の悲劇

2009年アメリカがん学会の報告書によると、喫煙が原因と考えられるがんや心臓病、呼吸器疾患などの病気により死亡する人は、世界で年間約600万人に達し、喫煙する人はしない人に比べて平均で15年早く死亡するといえます。また、たばこを吸わない人も受動喫煙によって、毎年20万人が死亡していると指摘しました。さらに、医療費や若い労働者が喫煙で死ぬことなどに伴う経済損失は約5千億ドル(約47兆円)に達します。そのため、各国にたばこへの高率の課税制度導入や、公共の場での喫煙禁止などの対策を進めるよう求めています。



## たばこの害の真実を見つめよう

たばこは、これまでの医学的エビデンスにより、肺がんをはじめとして喉頭がん、食道がん、胃がん、膀胱がん、腎盂・尿管がん等の全身のがんや、狭心症、心筋梗塞、脳血管障害、下肢閉塞性動脈疾患などの血管障害、および慢性閉塞性肺疾患(COPD)など多くの疾患、さらに低体重出生児や流・早産など妊娠に関連した異常、これらの重大な危険因子であることが明らかにされています。そのため最も効果的な疾病予防の方法として禁煙が第一に挙げられます。

## いま求められる対策は

欧米先進国では、たばこによる疾病や死亡が1960年代に既に、現在の日本の状況であり、この頃より種々のたばこ抑制策(消費者に対する警告表示、未成年者の喫煙禁止や、公共の場所の禁煙、たばこ広告の禁止などの様々な規制や、たばこ税の増額など)を講じた結果、国民の喫煙率や一人当たりのたばこ消費量が低下し、その成果として男性におけるたばこ関連疾患の減少という効果が実現されてきています。

## ボランティア団体「NPO 法人禁煙ねット石川」の活動

私たちは、広く一般市民に対してたばこの害をお知らせし、喫煙者への禁煙を支援している。とりわけ次世代を担う子ども達をタバコの害から守るため、努力を惜しみません。具体的には、受動喫煙の防止とそれに関連した路上喫煙の禁止、レストランあるいはホテルの禁煙化などは今後の課題であり、また、将来にわたってタバコを手にはいけない、という子供たちへの徹底した喫煙防止教育が必要です。私ども「NPO 法人禁煙ねット石川」では、県民、市民のコンセンサスを戴きながら、これらの活動を通じ、たばこの煙の無い美しい石川の空気をまもり、明るい健康的な社会の実現をめざしています。皆様のご支援をこころからお願い申し上げます。

NPO 禁煙ねット石川 理事長 岩城紀男